

今よりもっと幸せな日本をつくるため、第一歩を踏み出します!



昨年10月の総選挙において初当選をさせていただき、11月1日に初登院し、1期目の任期をスタートすることができました。今年に入って1月22日に通常国会が始まりました。選挙後、忘年会・新年会の季節となりました。国会と地元とを行き来しながら、国土交通委員会の初質問に立つなど、慌ただしく充実した日々を送らせていただいております。こうした日々を送ることができますのも、これまで5年にわたる浪人生活の間、皆様にご指導、ご支援をいただいたお陰と、改めて感謝しております。本当にありがとうございました。

定年が60歳から65歳、70歳へ、また年金受給開始年齢も引き上げという話が出てきますと、「いつまで働かせるつもりか」という声が聞こえてきます。しかし、仕事はお金のためであるとともに、生きがいにもなります。「定年後」の生活が20~30年続くようになった今、やれる範囲で仕事を続けるということは一石二鳥です。また、働いて税金を納めていただけたら、年金や健康保険など財政にとってもプラスにはたらく、一石三鳥にもなります。フルタイムで若いころと一緒に働いてください、ということではなく、時間的、体的に許す範囲で、知識、経験を誰かのために生かしていただく、ということです。



昨年11月1日 衆議院議員として国会初登院

経済だけでなく、生きがいを求める

数字上は、いざなぎ景気を超える景気拡大と言われていますが、生活が良くなったという実感はありません。少子高齢化に伴い、いわゆる現役世代が減り、消費者の数も減るので、経済を追いかけようと思いつくかなりの無理をしなればなりません。私たちが幸せに生きるためには、日々暮らしていく基本的な収入を確保しつつ、その上で私たちがそれぞれの生きがいを持って、充実した人生を送れるような国にしていく必要があります。



3度目の挑戦で初当選!

私が関わっている介護施設には、70歳代の職員さんが働いてくれています。「誰かの役に立てることが嬉しい」と、生き生きとした笑顔を振りまいてくださっています。私たちにそれはそれぞれこの世に生を受けた意義があるはずで、形は変わっても、どんな小さなことでも誰かの役に立つことが、自分の幸せになります。お互いが持っている力を出し合い、助け合うことで、この地域は幸せになり、この国は幸せになっていきます。今年一年、そのような地域、国をつくる初めの第一歩を踏み出す年にしていきたいと思います。

平成30年3月

衆議院議員 森田としかず



国土交通委員会にて質問!

当選後、国土交通委員会に配属になりました。県議としての経験を買っていただき、早速当選後初回の委員会から質問に立たせていただくことができました。以下、主な質疑をご報告します。

1) 転落事故防止のためのホームドア設置について

●2020年度までに約800の駅にホームドアを設置する目標に対しての現状や取り組みはどうなっているのか。

(藤井鉄道局長答弁)
2013年度末時点で583駅だったが、2015年に閣議決定された交通政策基本計画において、設置費用の一部を助成する等の取り組みによりその達成を図ってきた。2016年度末には686駅を達成し、2020年度末には882駅を見込んでいる。

森田はこう動く!
視覚障害をお持ちの方はホームを「柵のない橋」に例えていらっしゃいます。障害をお持ちの方だけでなく、どなたでも安心して乗り降りできるように早期のホームドア設置を求めています!

3) 地域鉄道のICカード導入について

●近郊・日本全国からお客様を呼び込むために、地域鉄道にもICカードの導入を図る必要があると思うが、どう考えるか。

(藤井鉄道局長答弁)
地域鉄道の活性化につながることを認識しているが、現時点では全国の地域鉄道96社のうち、導入した会社は28社。このため国土交通省では、特に訪日外国人の快適で円滑な移動確保に寄与するという観点からICカード導入費用の3分の1を補助している。今後も要望を踏まえ、普及に向けた支援を推進したい。

森田はこう動く!
小銭を用意することなく気軽に利用できるICカード。海外からのお客様にも好評です。経営の厳しい中小私鉄も導入できるよう、支援の拡充を訴えています。

2) 建設業(特に下請企業)の法定福利費の確保について

●建設業で働く方の社会保険加入推進に関して、法定福利費を確保するための取り組み状況はどうなっているのか。

(田村土地・建設産業局長答弁)
建設業団体に対して、適切な法定福利費の確保を要請するとともに、内訳明示した見積書の活用を促進し、徐々に効果が表れている。また、立入検査中に法定福利費の内訳明示等の確認をしたり、今年度は公共工事・民間工事・下請契約の標準約款を改正し、法定福利費を明示させている。

森田はこう動く!
一部の大手企業が利益を上げながらも、下請けの工事価格は相変わらず叩かれることでは中小企業が持ちません。チェックを徹底し、少なくとも法定福利費を確保できる体制を実現します!

4) 鉄道の維持について

●利用者が減少し、厳しい状況に置かれている路線もあるが、地域の足を確保するという意味で、鉄道の維持についてどう考えるか。

(石井国土大臣答弁)
地方鉄道の維持、活性化に向けて、施設設備に対する補助といった支援をしている。利用促進等の取組みとともに、地域の実情に応じた公共交通のあり方について十分議論されることが必要であり、支援をしていきたいと考える。

森田はこう動く!
地域の足を守ること。高齢の方が増え、運転をやめる方が増えるこれからの時代、特に大事なことです。国としても責任をもって支えていけるような仕組みを求めています!

質問の様子(動画)を衆議院のホームページからご覧いただけます。
<http://www.shugiintv.go.jp/jp/>

埼玉12区(熊谷・行田・羽生・加須・川里)の動き

地区内の平成29年度の動きをまとめてみました。国の事業や補助金の対象となっている市、県事業などを中心に取り上げております。

国道17号バイパス(熊谷市上之付近)

高架区間が終わった先、東京方面が渋滞しています。高架区間の東側に車線を内側に1本ずつ足す工事を行っています。

東武伊勢崎線踏切(羽生市立西中東側)

踏切改良促進法による指定を受けました。学校やご近隣の方からの要望を受けて拡幅工事が行われており、間もなく完成します。

中手子林調節池(羽生市中手子林)

中川上流部での浸水被害を防ぐための調節池が整備されています。先日桜の植樹も行われ、地域の憩いの場にもなりそうです。(補助事業)

県道行田市停車場酒巻線(行田市和田付近)

和田から南河原方面へ抜ける道が整備されました。行田市北部の南北方向の往来が便利になりました。(補助事業)

熊谷市
熊谷スポーツ文化公園
忍城
古代蓮の里

行田市
125号バイパス
17号バイパス

羽生市
羽生IC
水郷公園
カスリーン公園

加須市
加須IC
板倉川

旧川里町
新幹線

利根川堤防拡幅(加須市~羽生市)

道の駅はにゅう東側
埼玉大橋東側
利根川の堤防強化対策は1期区間(五霞町~羽生市)において用地取得率98%、堤防強化進捗率64%となっています。

県道鴻巣羽生線(鴻巣市広田付近)

道路の拡幅、歩道の整備が行われています。往来が円滑になり、歩行者自転車の安全な通行が可能となります。(補助事業)

加須市道・羽生市道(イオンモール羽生の南側)

両市にまたがる市道が整備され、国道125号からイオン方面、国道122号、南羽生駅などへの通行が便利になりました。(補助事業)

東武日光線踏切(柳生駅東側)

踏切改良促進法による指定を受けました。前後の踏切に比べて踏切の拡幅に向けて今後整備計画を策定します。

国道354号バイパス(加須市柏戸付近)

長年の懸案事項であった板倉北川辺バイパス(4.6km)の整備が間もなく完了し、3月24日に開通します。

各地にて、餅つき、清掃活動に参加。

国会見学受付中!

国会を見てみませんか? 日頃ニュースで目にされている光景を、ぜひ現場でご覧になってください。5名以上からお受けいたします。昼食やお後の観光にもご相談に応じますので、お気軽に事務所までお声がけください(国会見学は無料ですが、昼食や観光には所定の費用がかかります)。

活動報告

2017年10月24日 熊谷市妻沼小島地区にて台風22号の被害を視察しました。

1月23日 2月2日 雪かきは私の仕事です!

2月3日 各地の節分に参加しました!

各種行事のご案内

春を迎え、良い季節になります。各種行事を行いますので、お問い合わせの上ふるってご参加いただければ幸いです。お問合せ、お申し込みは下記事務所までお願いいたします。

- 羽生地区新春の集い**
日時:3月10日(土)15時~ 会費:1,000円
場所:羽生市民プラザ 羽生市中央3丁目7-5
- 加須地区新春の集い**
日時:3月25日(日)17時~ 会費:1,000円
場所:市民プラザがそ 加須市中央2丁目4-17
- 川里地区陽春の集い**
日時:4月7日(土)18時~ 会費:3,000円
場所:かわさと花久の里 鴻巣市関新田343番地
- モリモリゴルフ大会**
日時:4月19日(木)
会場:熊谷ゴルフクラブ 会費:3,000円
※1組4名様でのお申し込みを
※プレー費は個別清算となります。

お申し込み・お問い合わせ
森田としかず事務所 TEL 048-530-6001 (平日午前9時から午後5時まで)

衆議院議員 森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市立五保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立五保島小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギル大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、県議で県議選初挑戦(23票差で次点)、28歳で衆議院議員選挙を経て、平成24年衆議院議員選挙(55,663票で次点)平成26年衆議院議員選挙(57,299票で次点)平成29年10月衆議院議員選挙(86,007票で初当選)
[現在]希望の党 衆議院議員
介護施設「上川原んち」代表
[趣味]鉄道、旅行、茶道、ものまね、カラオケ